

143

長崎郵趣

2018.3.18



神宮式年遷宮記念
木下朋英

神宮式年遷宮

木下朋英



神宮式年遷宮記念切手は、昭和4（1929）年2月2日発行されました。

切手の上部の銘文は「神宮式年遷宮記念」と篆書体で記され、字画の先端はとがらせた特殊な字体を採用してあります。

図案の左下には「昭和四年十月」と記念切手では初めて、発行の年月を入れてあります。

銘版「大日本帝国政府内閣印刷局製造」は、1925～37年に発行された切手に用いられました。（表紙参照 ※作品には田型が入っていますが、デジカメで撮影した関係から上2枚

の切手に光線が入ったため、トリミングしました。）

昭和4（1929）年10月2日、伊勢にある大神宮で20年ごとに新しく社殿を造営してご神体を奉還する58回目の祭儀が行われることになりました。この祭儀のことを式年遷宮と称します。

この式年遷宮は、GHQ占領期には実施できず、独立を回復した翌年の昭和28（1953）年に第59回が行われました。直近では62回の式年遷宮が平成23（2013）年に行われています。

今回展示する作品は、58回目の式年遷宮に合わせて発行された2種類（1銭5厘、3銭）の切手を製造面と使用面から展開した作品です。



